なら男女GENKIプラン
奈良県男女共同参画計画（第２次）

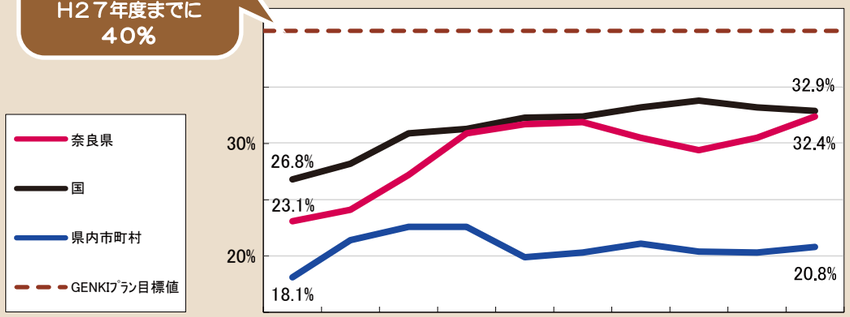
県では男女がお互いに大切なパートナーとして思いやり、ともに心豊かな生活を送ることができる社会を目指し、奈良県男女共同参画計画（第２次）を策定しています。（計画期間：平成 18 年度～平成 27 年度）
その中で５つの基本目標を定め、その達成のために、さまざまな取り組みをおこなっています。

基本目標 1　あらゆる分野における意思決定の場への女性の参画

▷政策形成・意思形成の場への女性の参画を進めます。
▷あらゆる分野への女性の参画を進めるために、女性の人材を育成します。

【GENKIﾌﾟﾗﾝ目標値】
H２７年度までに
４０％

審議会等委員における女性委員の割合の推移



（国＝内閣府男女共同参画局調べ：H24 年９月現在。県、市町村＝女性支援課調べ：H24 年３月 31 日現在。）

奈良県の現状

県では、H24 年度は 32.4% となりこれまでで最も高い比率となりました。市町村の審議会等での女性比率は、20% 前後で推移しています。
増えない理由としては、各種団体の長（主に男性）が委員となることが多いため等が考えられます。

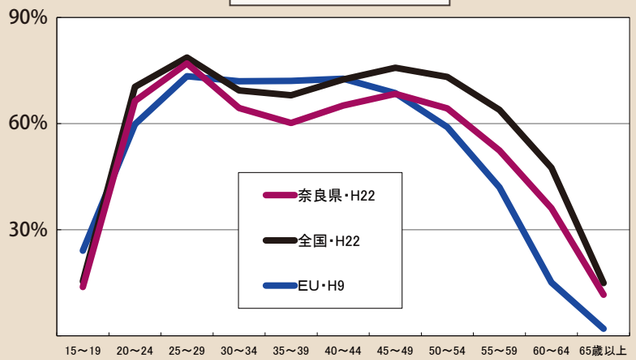
基本目標 2　男女が意欲と能力に応じていきいきと働ける環境づくり

▷働く女性が能力を発揮できる就業環境や、男女ともに仕事と家庭などの両立ができる働きやすい環境づくりを支援します。
▷ライフスタイルに応じた多様な働き方を進めます。

奈良県の現状

県の女性の労働力率は、出産・育児をされる方が多いと思われる 30 歳代で落ち込んでいます。
これは「子育てに専念するため」、「子育てをしながら働くことに家族の理解がないため」また「社会的環境が整っていない」などの様々な理由で女性が仕事から離れているからだと考えられます。

女性の労働力率



資料：総務省「国勢調査」
備考：労働力率=「労働力人口」÷「15 歳以上人口（労働力状態不詳を除く）」×100（労働力状態不詳を「労働力人口」（分子）、「15 歳以上人口」（分母）の双方に含めない。）

基本目標 3　男女がともに支えあうライフスタイルの実現

▷家庭と仕事・地域活動のバランスがとれた生活を支援します。
▷女性のチャレンジを支援します。

主な目標値　・男性の家事時間（1 日平均）　（出展：社会生活基本調査）

策定当初（H13 年度）	現況値（H23 年度）	目標値（H27 年度）
33 分	44 分	50 分

基本目標 4　男女の人権の尊重

▷女性に対するあらゆる暴力を根絶します。
▷男女が生涯を通じて心身ともに健やかに過ごせるよう健康づくりを支援します。

参考データ　・県内 DV 相談件数の推移（奈良県こども家庭課調べ）
※DV 防止法施行年度

※H13 年度	H23 年度
６５５件	１，０４０件

基本目標 5　男女共同参画社会実現に向けた意識づくり

▷「男ならこうあるべき」「女ならこうすべき」といった固定的な性別役割分担意識を払しょくします。
▷家庭・学校・地域で、男女共同参画を推進する学習を進めます。

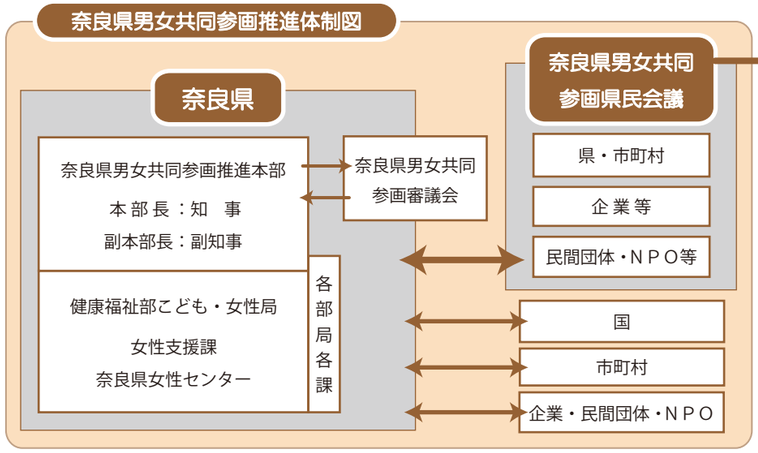
主な目標値　・県民会議における企業・団体の男女共同参画推進取組事業数（奈良県女性支援課調べ）

策定当初（H16 年度）	現況値（H23 年度）	目標値（H27 年度）
79 件	114 件	120 件

計画の推進体制

この計画を達成するために、県、市町村、企業、県民・民間団体が主体的に取り組み、総合的に推進しています。

奈良県男女共同参画推進体制図



奈良県男女共同参画県民会議って？

男女共同参画社会の実現に向けての社会的気運を盛り上げるため、県民、事業者、関係団体、市町村等が一体となって男女共同参画を浸透していく体制づくりとして県民会議を設置し、地域、職場、学校、家庭その他の社会のあらゆる分野においてそれぞれの立場で自主的に男女共同参画に関する事業に取り組んでもらっています。